



平成20年5月15日

神奈川県知事 松 沢 成 文 殿

水源環境保全・再生かながわ県民会議

座 長 金 澤 史 男

平成19年度の県民フォーラム意見について（報告）

当県民会議では、平成19年10月から水源環境保全・再生かながわ県民フォーラムを3つの地域（県西地域、県北地域、県央・湘南地域）で開催し、県民への水源環境保全・再生施策の周知とともに幅広い県民からの意見収集に努めてきました。つきましては、平成19年度における県民フォーラムの概要並びに収集した意見を別添のとおり取りまとめましたので報告します。

知事におかれましては、当報告書の県民意見を水源環境保全・再生施策に反映させることについてご検討いただくとともに、質問事項については県民会議を通じて回答してまいりますので、県としてのご回答をお願いします。

なお、水源環境保全・再生かながわ県民フォーラムは、平成20年度も引き続き2つの地域（横須賀・三浦地域、横浜・川崎地域）で開催し、最終報告を行う予定です。

(参考)

平成20年5月15日

### 「県民フォーラム意見報告書」とりまとめに当たっての座長コメント

平成19年度に開催された3回の「県民フォーラム」には、延べ542名が参加し、書面だけでも169件の意見・要望が提出されました。これは、水源環境保全・再生に関して引き続き県民が強い関心を寄せていることを示すものであり、本報告書の内容が真摯に検討されることを期待します。

県民会議に集約された意見はどれも重要ですが、県民フォーラム及びその内容について検討した県民会議の議論を通じて、特に留意すべきと考えられる点を補足いたします。

第1は、森林整備の作業に従事する人材の確保についてです。そうした人材の一般的な不足に加え、後継者の確保が困難になっているという問題は、深刻さを増しています。安定的な仕事量の確保、労働条件の改善などの方策を検討いただきたいと思います。

第2は、県産材の活用など林業振興策との関連についてです。産業政策としての林業振興策に関しては、県民会議が直接担当する分野ではありませんが、水源環境や森林を保全・再生するうえでの林業の役割に期待が高まっています。環境保全の視点からする林業支援について特段の取り組みを期待します。

第3は、県域を越えた水源環境保全・再生の必要性についてです。桂川・相模川流域をはじめとして水源環境保全・再生の課題は、県域を越えて取り組むことによって十全な効果が得られるものです。

「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」ならびに「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」について、見直しの機会がありましたら、この点に関する新たな施策の展開を検討いただきたいと思います。

以上。

# 県民フォーラム意見 報告書

平成19年度

平成20年5月15日

水源環境保全・再生かながわ県民会議



## 平成19年度 県民フォーラム意見について

### 1 はじめに

「水源環境保全・再生かながわ県民会議」(以下「県民会議」という。)は、水源環境保全・再生施策について、計画、実施、評価、見直しの各段階に県民意見を反映する仕組みとして設置された。

平成19年度は、「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」(以下「実行5か年計画」という。)に位置付けられた事業の実施初年度であることから、県民会議で県民意見を反映する仕組みの議論を重ね、その一つとして平成20年半ばを目途に、県民会議の構成員である公募委員が中心となって、選出された地域ごとの5地域で「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」(以下「県民フォーラム」という。)を実施することとした。

県民フォーラムは次の3つのねらいをもって開催した。

- ① 県民に水源環境保全税やその使われ方を知っていただき関心を高めていただくこと。
- ② 事業実施に当たって、直接県民の意見を伺い、チェックを受け、その意見を集約し、県に提出すること。
- ③ 県民会議自身の活動についても理解してもらい、ともに水源環境の保全・再生を目指す仲間としてネットワークの形成を図ること。

そして、このたび平成19年度に行った3回の県民フォーラム結果を取りまとめたので、知事に対して中間報告を行うこととした。

なお、県民会議では、今年度さらに2回の県民フォーラムを開催し、今年度中に全5回の結果を取りまとめ知事に報告する予定である。

### 2 県民フォーラムの結果概要

第 一 回	地域	県西地域		
	日時	平成19年10月23日(火) 18:30~20:30		
	会場	山北町立中央公民館 多目的ホール		
	企画責任者	片山幸男 瀬戸孝夫 高橋二三代		
	参加者数	250名		
	意見数	77件		
	内容	<p>○水源環境保全・再生施策の事業説明 県職員</p> <p>○パネルディスカッション</p> <p style="margin-left: 20px;">コーディネーター 横浜国立大学経済学部教授 金澤史男 氏 (県民会議座長)</p> <p style="margin-left: 20px;">パネリスト 小田原山盛の会会長 大森良一 氏  (旬)川又林業代表取締役 川又正人 氏  三竹里山の竹林を考える会会長 杉山精一 氏  山北町副町長 清水正己 氏</p>		

第 二 回	地域	県北地域
	日時	平成20年1月17日（木） 18：00～21：00
	会場	サン・エールさがみほら ホール
	企画責任者	石村黄仁 倉橋満知子 坂本勝津雄
	参加者数	182名
	意見数	54件
	内容	<p>○水源環境保全・再生施策の事業説明 県職員</p> <p>○事例報告・パネルディスカッション</p> <p>コーディネーター 旧津久井町長 天野 望 氏 (県民会議委員)</p> <p>パネリスト 県環境農政部森林課副技幹 日高荘一 氏 サトウ草木代表取締役 佐藤好延 氏 桂川・相模川流域協議会代表幹事 倉橋満知子氏 (県民会議委員) 麻布大学環境保健学部 滝沢康至 氏</p> <p>ミニコンサート シンガーソングライター 芳 晴 氏 (二胡奏者：相模原市藤野町在住)</p>
第 三 回	地域	県央・湘南地域
	日時	平成20年3月23日（日） 13：00～15：00
	会場	秦野市表丹沢野外活動センター 活動室
	企画責任者	真覚邦彦 吉村妙子 柳川三郎
	参加者数	110名
	意見数	38件
	内容	<p>○水源環境保全・再生施策の事業説明 県職員</p> <p>○市民事業支援制度の説明 日本大学経済学部准教授 沼尾 波子氏 (県民会議 市民事業等審査専門委員会委員長)</p> <p>○パネルディスカッション</p> <p>コーディネーター 沼尾波子氏</p> <p>パネリスト 秦野市森林づくり課長 大津 徹氏 まほろば里山林を育む会代表 椎野恭治氏 金目川水系流域ネットワーク代表 柳川三郎氏 (県民会議委員) 県民会議委員 真覚邦彦氏</p>

### 3 県民フォーラム意見

県民フォーラム各回における個々の意見内容は資料（P5～P14）のとおりである。

このフォーラムには、県担当部局職員も出席し、議論に参加していただいているものであるが、これらの意見の中で県民会議として受け止め、特に重要な事項を項目ごとに次のとおり整理したので、県施策への反映を検討していただきたい。

また、個別意見の中の県施策に対する質問については、県民会議を通じて回答しますので、県民会議へご回答くださるようお願いしたい。

なお、意見ごとの末尾にある「西23」等の番号は、資料記載の個別意見番号となっているので参照願いたい。（西：県西地域、北：県北地域、央：県央・湘南地域）

#### (1) 森林の保全・再生事業に関すること

ア 森林整備の一層の促進を図っていただきたい（西1・2・3・北1・央1）。

森林整備の促進に関し、具体的な対策として

- ① 森林所有者が自ら行う整備に対する支援を手厚くする（西4）。
- ② 小規模森林所有者に対する支援を検討する（西5・北2）  
ことを検討していただきたい。

イ 森林整備の担い手対策を行い、質の高い技術者による整備を推進していただきたい。  
（西6・7・8・9・10・北3・4・5・6）

森林整備の担い手対策に関し、具体的な対策として

- ① 1年を通じて仕事ができるよう仕事の平準化を図られたい（西11）。
- ② 森林整備の単価を状況に即して引き上げてもらいたい（西12・北7・8）。
- ③ 森林技術者の育成のサポートをしてもらいたい（西13・北9・10）。
- ④ 技術力の高い事業者が落札できるようにしてもらいたい（西14）。
- ⑤ 造園業者等他業界でも森林整備ができるようにしてもらいたい（北11）。

ウ 県産材・間伐材の一層の利用促進（住宅・家具への活用、バイオチップストーブの普及など）を図られたい（西15・北12・13・14・15）。

#### (2) 水源環境への負荷軽減事業に関すること

ア 津久井地域の下水道普及率を上げてもらいたい（北26）。

イ 酒匂川取水堰から上流域の生活排水処理施設（浄化槽）設置への助成を行い、市町村設置型の浄化槽整備を促進してもらいたい（西27・28・29・30）。

#### (3) 情報の提供・理解の促進に関すること

ア 施策の必要性、事業実績や目標達成度などを分かりやすく情報提供してもらいたい  
（西32・33・34・35・36・37・38・39・40・北4・31・32・33・央6・7・8・9・10・11・12）。

イ 税金の支払われた実績や個々の税額などが分かるように示してもらいたい（北34・央13）。

ウ 「水源環境保全は、長い時間と経費がかかる」ということへの理解の促進をしてもらいたい（西41・北35・36）。

(4) ボランティア支援に関すること

ボランティアに対するアドバイスや情報交換などの支援をしてもらいたい（西42・43・央14）。

(5) 県外上流域に対する事業に関すること

県外上流域対策の実施の検討や県外上流域との連携を図ってもらいたい（西44・45・46・北37・38・央15）。

(6) 水源地域の活性化等に関すること

中山間地域の農地の再生保全や農業・観光など地域産業等の育成や都市地域との交流を図り水源地域の活性化に取り組んでももらいたい（西47・48・49）。

4 今年度の県民フォーラムの予定

今年度の県民フォーラムについては、次により開催し、今年度中に全5回の結果を取りまとめ知事に報告する予定である。

第 四 回	地域	横須賀・三浦地域
	日時	平成20年5月16日（金）18：30～20：30
	会場	ヴェルクよこすか ホール
	企画責任者	高橋弘二 田倉一由
	概要	○水源環境保全・再生施策の事業説明 県職員 ○横須賀の水道の現状と水源について 横須賀市職員 ○パネルディスカッション コーディネーター 東京大学大学院工学系研究科教授 古米弘明氏 (県民会議委員) パネリスト 桂川・相模川流域協議会幹事 宮野 貴 氏 里の案内人 坂本勝津雄氏 (県民会議委員) NPO法人環境ファミリー葉山 安藤 忠雄氏
第 五 回 (案)	地域	横浜・川崎地域
	日時	平成20年7月31日（木）10：00～12：00
	会場	県民活動サポートセンター 2階ホール
	企画責任者	天内康夫 長谷川朝恵 牧島信一
	概要	○水源環境保全・再生施策の事業説明 ○パネルディスカッション



第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
1	森林整備等関連項目	今夏の台風・大雨により、河川上流域での人工林の表土の流出・林道の法面の崩壊・沢筋の河床の流出により下流域での河川の中州に土砂の蓄積で流路が変わったり、本流の滞りにより、狩川流域の塚原地内では支流に逆流して住宅の床上浸水があったが、行政の担当者は地形によるものと言うのみ。また酒匂川の旧十文字橋の落橋も上記と同様の原因と考えられる。人工林を自然林に変換を行い、山林の保水力を高めることに水源税を使ってください。林道の開設やスギ、ヒノキの植林は止めるべきです。	(1)ア
2		水源地域の再生に伴う整備の強化をお願いしたい。おいしい水豊かなれば山林が大切な資源となりますので、水源地域の保全を図ってほしい。	(1)ア
3		管理（手入れ）の出来ない人の山林は山主の了解を得て公の機関（森林組合等）で施業できる施策が必要。	(1)ア
4		山持ちの人が自分の山を再生した時も何ら収入がないが、何か良い方法はないですか。 私有林について何か良い方法はないのでしょうか。	(1)ア①
5		小規模林家を大事にするべし、という意見には大賛成。これは農業、漁業に共通する問題。国の農業に対する品目横断助成など大規模農家のみを支援する政策は農業つぶしになってしまう。	(1)ア②
6		【森林整備への担い手不足対策】 一体、どの位、訓練すれば、山で仕事ができるのか。332名と聞いてあぜんとなりました。川又さんの明るさはどこからくるのか。どうしたら川又さんのようになれるのか。次世代への継承の道を全県的にどのようにしたら可能か。実際、ご息は同じ稼業ですか。	(1)イ
7		【担い手不足の原因と解決策について】 林業等の担い手不足について各パネリストからお話があったが、その原因と解決策について何かあればお聞きしたい。	(1)イ
8		担い手不足等の解消を！また、水源地域の森林だけでなく、地域そのものを守っていく必要を感じた。	(1)イ
9		・本当に現金が配分されれば良くなるのか？ ・人の労力なければ、山は育たないと思う？ ・町民・県民が自分のことであるのに行動をしないのは何が原因なのか？ 先の話ではないと思うし、今から何かをしなければならぬと思う。	(1)イ
10		水源環境保全は人と金の有効活用がさらに必要であることを痛感した。特に担い手のたくさん育成をする機関や機会を引き込むことも必要であろう。	(1)イ
11		【仕事をする作業員について】 作業員が少なくなっているとのことで、1年を通し仕事があれば、作業員は増えると思います。	(1)イ①
12		水源税により森林整備が多くできる状況であるのに、担い手がないのは問題である。補助金や寮などの待遇、賃金を上げるなどして、若い人を確保していかないと、森林を守る人がいなくなる。長野県が人材確保している様に、もっと税金を有効活用できないものか。	(1)イ②
13		林業に関わる担い手が大変不足しているとお話を聞きました。今後の担い手の育成手法についてご検討ください。非常に難しい問題かと思われませんが、よろしくお願いします。	(1)イ③
14		【落札の件】 山林の整備で、落札の話がありましたが、技術のある人がいないのに落札して、大森さんのような人を雇用して、安い賃金になってしまうような話がありましたが、どのようにすれば高い賃金が確保できると思われますか？発注の仕方を工夫して、地域の技術を持っている人々にメリットのある仕組みのアイデアをお聞きたい。	(1)イ④
15		【間伐材の利用について】 県民がもっと間伐材を利用するためにはどうしたら良いか？利用についてのアイデアがもっと必要だと思うがそうした機関はありますか？日本の木の文化の衰退をくい止めるために県の取り組みが必要では？	(1)ウ

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
16		水源林整備において、下層植生の衰退を理由に除伐が控えめになっているが、灌木が密に生えている所での作業は、非常に危険を感じる。林業は死亡災害も非常に多いので、担い手も増えないのではないかと思う。 安全面にも配慮した設計としていただきたい。	
17		【水源林づくりについて】 今、水源の仕事をしているが、間伐した木を集積することに、作業内容の中で1番時間を使っているが、本当に集積は必要ですか？その分、他のことができると思いますが、どうでしょうか？	
18		林道の新規開設は止めてください。不法投棄の場所が増すのみです。	
19		林業経験者を数人契約職員として設置し、実際の現場等を調査したり、整備等を行った後の検査を行ってはどうかと思う。	
20		北欧の森林保全等の勉強をすると良いのではないか？	
21		山北町は山が深いので作業員の宿泊施設を県（旧ハイツピラ）の跡地に県産材で建設してほしい。	
22		時代の変化と共に、農林水産業の従事者は減少していくと思うが、水源の保全は永続していかなければならない。今後さらに人口減少等が進み、どういう対策が必要か国レベルで考えていかなければならないのではないか。	
23		学生時代に見た檜潤丸のうっそうとしたブナ林が戻ってくれば良いと思う。	
24		【鹿害対策】 鹿柵だけでは、鹿の繁殖を止められない。鹿そのものの個体数を制限（減少）する具体策は？具体的活動は？ 北海道では食肉としての研究が具体化しているようですが？	
25		水源地域のシカやブナハバチ等の生態系の対策はどうしておりますか。具体的に成果が上がっている例があれば教えてください。	
26		【水源林整備の内容の見直し】 水源の整備の際、間伐に木を集積しているが、材を積み上げるのは、非常に労力を要し、作業する人にかなりの負担をかけているように思います。土どめの効果を得るなら、立木にかけ、筋状にするのがよいのでは？	
27		水源域での合併処理浄化槽の設置費用は全て公費で負担されたい。	(2)イ
28		【酒匂川上流から飯泉取水堰までをすべて集水域と考える姿勢はないか。】 ダム集水域に居住する世帯は220にすぎない。酒匂川支流の中小河川周辺の集落は、公共下水道区域でもなく、家を新築するまで何時合併処理浄化槽にするか不明である。これら地域が市町村設置型の合併処理浄化槽にならなければ、早く、安く、きれいで、住民にも優しく、地方財政にも柔軟な仕組みを取り入れることができず、きれいな上水道を供給できない。今の状態では、水源税を取り続けるのは無理。	(2)イ
29	負荷軽減（排水・河川等）	【これ以上の公共下水道は破綻。市町村設置型の合併処理浄化槽事業への見直し転換を】 1. 夕張市は下水道を赤字にしないためには、使用料を月1.8万円にしなければならぬ。松田町では、月1万円近くの下水道使用料を払わなければ赤字となる。 2. 大手下水道コンサルタントでさえ、破綻すると環境新聞に全面広告している。 3. 国も再度市町村整備事業の効率的転換を指導、東北地方は着々と転換している。 4. 全国で市町村整備事業の合併処理浄化槽0は神奈川のみ。従って、法定点検は10%程で全国最低である。 県の市町村に対する指導	(2)イ
30		水源環境税の用途をダム集水域からダム下流の取水堰まで充てること。	(2)イ

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
31		【丹沢湖に流入する生活排水の浄化の方針について】 予算項目「水源環境への負荷軽減」によって、丹沢湖に玄倉川が流れ込む場所にある。山北町三保地区の生活排水浄化のため、高度処理型合併処理浄化槽方式を導入する計画と聞いている。 経費の点からも排出水の水質の点からも高度処理型合併処理浄化槽方式よりは、一般の合併処理浄化槽にトレンチ型土壌処理を組み合わせた方式（山中湖村方式）がいいのではないかと考えるが、見解を聞かせて頂きたい。	
32		山北町の現状はどこまで進行しているのですか、知りたいです。水源税は5年間でいくら入りますか。	(3)ア
33		【水源税対策のPR活動について】 税の使い道で県民へのPR活動に対する予算が少ないと思われるのですが、どう思いますか？高知県の森林環境税では、初年に60%近く予算を使っていたので。	(3)ア
34		【関係者が考える神奈川県内の森林のあり方は？】 個人の活動についてはよくわかったが、では客観的に神奈川の水源林として何が必要なのか。それは一県民である私たちではわからないことなので、ぜひ教えてほしい。	(3)ア
35	情報提供・啓発関連項目	【森林の荒廃をどのようにして再生をはかるか。】 私有林の荒廃が進行していますが、私有林が県内に占める比率はどのくらいですか。 私有林の荒廃化は林業の経営不振が大きな要因となっていますが、改善するための施策はどのようになっていますか。神奈川県と民間の英知を結集してやってください。県木材の評価を高めるための研究を教えてください。19年度予算に占める森林再生は21億円で全体の77%を占めています。この予算執行に伴い、Cランク（荒れている森林）を57%からどのくらい改善が可能か。シェアをどのくらい目標としていますか。	(3)ア
36		【関係団体への補助について】 間伐等に関係する造林補助事業が国・県で既にあるが、水源環境税との兼ね合いは。またその補助を受ける時の申請は既存のものとの違いはあるのか。	(3)ア
37		水源の保全・再生の必要性について、水を実際に使っている人達がどれだけ感じているか、かなり疑問だと思う。（学校等を利用してはどうか？）	(3)ア
38		山林（森林）は水・空気の源であることを都会人に植え付ける啓発をしてほしい。	(3)ア
39		県民がもっと木（間伐材等）を使うよう教育が必要ではないか？例えば、街中にベンチや丸太のイスを置くとか…。木工教育も…。	(3)ア
40		水と空気はタダという思いの人が多い。特に都会人には水源を守ることを大変さを知ってもらいたい。 水源環境の保全・再生は農林業の再生・保全から。	(3)ア
41		水源環境を保全・再生するためには、長い時間と経費がかかることを都市地域の人達に継続的に理解していただくことが必要である。	(3)ウ
42	市民活動支援	【森林ボランティアについて】 私は湯河原でボランティアを始めたものです。3人でスタートしてまだチェーンソー2本と草刈機4台、大ガマ2本ですが、チェーンソーを安く手に入れる方法や人集めの方法をアドバイス願います。	(4)
43		山仕事に従事する人達の熱意が伝わってきました。担い手不足と言われましたが、このフォーラムをきっかけに漠然と何かやってみたくと思った人に、どんな手伝いや仕事があるのか、挙げてもらえると、具体的に考えられるかもしれません。	(4)

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
44	県外対策	水源環境税を県外に投資することに反対した県議諸氏の狭量を残念に思う。	(5)
45		対象地域を県外を含めているとなっているが、具体的な施策が見えない。山静神サミットなどで話し合いが行われているのか。	(5)
46		今後、町民だけでは無理な話であり県内の若い人達も参加し森林づくり、水源を守ることが将来の神奈川県に必要であり、又、静岡県、山梨県とも連携を取り実施すべきと思う。林業等に携わる人達が安心して生活できることが必要である。	(5)
47	水源地域の活性化等	森林と同時に山間地や中山間地にある荒廃した農地の再生・保全にも取り組む必要がある。山北町では森林と農地が隣り合わせになっている所がない。山をひとつの生態系とみるならば、その一部である農地にも目を向けて欲しい。	(6)
48		【中山間地の農地の保全について】 山北町では、みかんや茶を栽培している農地が、山間地や中山間地にあり、水源の一部となっています。しかし、これらの農地が後継者不足などにより、荒廃しているのが現状です。 森林の再生と同時に山間地にある農地の再生・保全も水源保全には必要なことだと思います。私は現在、中山間地を中心に農地を耕作しています。農地の保全について力を尽くしたいと思っていますので、必要な時は御連絡ください。	(6)
49		森が元気になって、きれいな水ができることは、すばらしいことですが、人も共に元気になれるシステムづくりを考えていく必要があると思います。森林環境が人の健康に寄与すると言われてきています。いやし、生活習慣病予防が求められている昨今、森の健康活用を考えていくことも大切なことだと思います。都会との交流も良いのかもしれないですね。（町活性のためのPR）	(6)
50	その他	大変良かったと思います。私は現場で作業をしている者です。これからも頑張ってください。	
51		【水源環境税について】 水源地域の住民もそうでない住民も同一税率負担はどうかと思う。（水源地域の人は、常時、生活の中で水源保全に協力している。）	
52		神奈川県の場合、個人の所得割にも超過課税をされており、負担に個人差があるので、各人がいくら負担しているのか明確に周知すべきではないでしょうか？	
53		貴重な県民の税金を使つての取り組みであると考えますので、環境等に十分気を配りまして進めていただきたいと思います。	
54		これから先、環境は悪化していくと思う。そんな中で、このような水源税導入は非常に必要なことだと感じます。数百円、数千円で環境が保たれるなら安いものではないでしょうか。	
55		水源地域の人々の元気な実情を知り、感心しました。当面、環境税がこれらの人々の役に立ち、輪がより広がっていくことを願っております。	
56		【子供達の自然環境学習（森林セラピー）】 横浜から子供達を含めて家族連れ20～30人が訪れた時、1日たっぷり自然環境学習でご指導していただけますでしょうか。あるいは定期的に教室のようなものを開催していますか。	
57		水源環境保全税は5年立法となっている。きれいな水を供給するのは永遠のテーマであり、5年で完全に整備されるのか。 6年目以降は税に頼らない予算で、水を維持してもらいたい。	
58	【相模湾養浜事業への水源環境税の充当】 本税の充当先は上流部事業が主となっています。しかし、ダムが出来たため、砂浜が痩せ、西湘バイパスが崩壊する事態になっています。 飲み水ばかりでなく、養浜にも用途が広がれば相模湾沿岸の都市部住民の理解も得られ、成果も眼に見える形になると思います。都市と山間部の綱引きという形も避けられるのではないのでしょうか。 次回の制度設計にはご検討いただければ幸いです。		

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
59		水源保全と観光事業を組み合わせてもらいたいと思います。	
60		【丹沢湖の浚渫後の処理について】 丹沢湖には多量の流砂があると思うが、浚渫後の処理をどのようにしているかお伺いしたい。	
61		私の所属している山北工業クラブ（もの作り異業種グループ）として、この問題に取り組む方法等探索中です。	
62		【水資源の現状（カラーパンフレット2ページ）】 酒匂側水系31.4%のうち三保ダム31.2%となっておりますが、ダム（約100%）からは河内川へ毎秒約16t/s、嵐発電所（東電）より8.5t/s、これが現在丹沢湖より放流されている水量（約80万t/日）と承知しているが違いますか。 また、酒匂川水系として飯泉取水堰より取水されている水量は180万t/日と承知しているがどうでしょうか。すると丹沢湖（三保ダム）の供給量の占める割合は約40%となります。 これが私の調べた正しい数値ではないかと思えます。	
63		日本の基本産業の衰退は目を覆うばかりだ。	
64		取組を支えるための人づくり（専門家の養成）を痛感した。（県や地方自治体、関係業者で解決は難しい。）	
65		神奈川力構想に2点ほど提案した。	

※上記の他にフォーラムの運営等に対し、県民会議への意見として12件の意見が寄せられました



第2回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
1	森林整備等関連項目	国・県・市有林には手が入りやすいが、私有林の中には、拒否する方も多いと聞いている。この問題をどう解決していくのか。	(1)ア
2		【私有林の手入れについて（個人の力では無理な所）】 知人が松田町寄地区に住まいし、少しばかりの山林を持っているが、ほとんど山に行く事がなく、今の取組を自分の山に向けてもらう事が出来るのかどうか。待っているのではなく、働きかけるには、どうしたら良いか具体的に知りたい。	(1)ア②
3		林業者の不足対策、人材派遣は使えないか。	(1)イ
4		整備に対する政策は進んできていると思いますが、それに関わる人手が大変不足していると思います。現状を踏まえて魅力ある事業とその広報も大切だと思う。	(1)イ (3)ア
5		昨年度から水源林整備業務を受注させていただいておりますが、今後ますますの勉強、努力で取り組みたいと考えます。労働力→現場での実際労働を担う層の確保こそが最優先では？→教育？机上の空論と思える議論だけでは、決して森林は良くなりません。	(1)イ
6		【森林整備事業の担い手確保について】 1. 担い手に必要な技能、資質 2. 不足している現状に対して考えられる解決策または方策 3. 一般市民が関わることがあれば知りたい。	(1)イ
7		林業労働者の安定した処遇になるような改善が必要。1企業では無理なのでこの水源環境税の導入を契機に行政にも一歩踏み込んだ改善を図っていただきたい。	(1)イ②
8		山の仕事に慣れないために、県から文句も言われますが、どうしても作業が遅れ気味です（ケガも多いです）。単価も安く決して良い仕事とは思えませんが、「水源林を守るため」というすばらしい仕事なのだと確認しましたので、作業員の方々にも、そのことを伝えたいと思います。	(1)イ②
9		林業従事者の育成にもお金を使う必要あり。	(1)イ③
10		林業従事者の育成にもお金を使う必要あり。待遇保証・改善は難しい問題だが、「緑の保全の担い手」として、国は支援する仕組みをつくってほしい。	(1)イ③
11		担い手不足の解消に向け、造園他の人の関心度が高まったと伺いました。更に押し進める努力を自治体・企業共々強めてほしい。	(1)イ⑤
12		県産材を活用するためのインフラの整備はどのように考えているのか。	(1)ウ
13		【県産材の有効活用について】 ・県産材は住宅の材料として使えるだけの量や質があるのか、供給されているのか。 ・県産材の有効活用についての県の施策と今後の方向について	(1)ウ
14		【間伐材の活用】 課題は何か？どのように解決していくか？	(1)ウ
15		県産材での住宅や家具への活用も進めてほしいが、バイオチップストーブの普及なども是非進めてほしいが現状は？	(1)ウ
16		水源環境保全・再生事業や水源の森林づくり事業でフォローできない山林の整理（湖周辺や県道周辺など）の整備の仕組みをつくる必要がある。整備しない、できない説明が今後は必要となる。	
17		森林整備をNPOに委託することはしないのか。	
18		地球環境の問題が大きく取り上げられている現在、環境に力を注ぐような企業が求められていくとともに、企業の価値を高めることとなるのではないか。そういうことから、民間の力をもっと活用し、民間企業が森林の一部などを守るような仕組みづくりを検討できないか。	

第2回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
19		私は一般的な会社員でどちらかというと便利性を求める傾向にある。環境問題等はテレビ、新聞等で報道されても実感が湧かなかった。しかし今回参加させて頂き森林保全事業の確保（313名では困難かな、森林家の将来、若者の定着かなど）、また猿橋付近のゴミはショックでした。いろいろ勉強になりありがとうございました。 佐藤さんの言っていた森林業労働力確保は「金」と言っていたが、お金がすべてではないと思う。給与が多い方が良いと思うが、仕事に対する誇り、喜び、達成感などであると思う。この辺りのPRと人材が必要と思う。	
20		協力協約契約に関する業者とNPOとの活動方法について、規定を早く確認したく存じます。（書類で） 1 NPOが営利活動と見なされる協力協約では参加が出来ないと存じます。 2 とは申せ、完全なボランティアでは再生活動は出来ず、現在借用森林はあるも如何様に活動したものか思案しております。 3 県と市との規定・方針に不一の点がある様にも思いますが？ 4 借用している森林は里山林です。	
21		1. 水の発生源の現況を知る様な写真が見たかった。 2. 林業でなく、水との取り組みを発表してもらいたい。	
22		【林業発生について】 内外価格差についての県の取組は？	
23		【発生材の現場利用】 間伐等による発生材は、柵や土留めで利用できるのは（現場で使えるのは）、全体のどの程度の割合ですか？	
24		【間伐材を使った土留めについて】 間伐材は生木ですが、土留材に利用して早く腐るのではないのでしょうか。そして材木が崩れ落ちてしまうようなことはないのでしょうか。間伐材の処分費が緑地の管理費の多くを占めているため、できれば使っていきたい。	
25		水源の森の重要性について、市民・学生の関心、反応はどうですか。何が人を動かすポイントと思えますか。	
26		津久井地域の下水道普及率を上げてほしい。	(2)ア
27		河川整備にも力を入れて。	
28		【河川・水路の整備について】 水源環境保全・再生交付金の対象事業に、河川・水路もありますが、その内容についてお聞かせください。	
29	負荷軽減（排水・河川等）	身近な市町村での取組について、水田地帯の水路を環境保全・再生できるよう整備してほしいと思います。森のめぐみの水が、農のめぐみを与えてくれます。水田の多面的機能を農のめぐみと言い換えた福岡県の環境支払制度は県民が農めぐみにまなざしを向けることを進めています。県内の水田地帯でも県民がもっとまなざしを持てる取組が望まれます。 愛川町尾山耕地の水路改修が行われていますが、コンクリート三面張り、交付金の対象になっていません。この水路には、県のレッドデータにリストアップされたトウキョウダルマガエルやホトケドジョウなどが確認されています。こうした生物達の生息に配慮した整備を市民参加、また専門家も入って検討されることを望みます。	
30		早戸川支流の水沢川の水質保全、汚染対策に力を注いでいます。松茸山下の駐車場にバイオトイレを設置し、人糞等からの汚染を防いでいますが、昨年は水浴、デイキャンプ、水遊び等多く、トイレの処理能力を超える利用者のため、苦しんでいます。 県北センター森林課の地域課題調整費の一部で今年度ももう一基設置を要請しましたが、無理のようです。 造林組合（森林関係）としてはもう限界（設置の補助、管理等）なのです。 流域の水質保全対策の一環として何とか検討のまな板に乗せて欲しいのですが。	



第2回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
31	情報提供・啓発関連項目	水源環境税の使われ方を知ることができ良かった。	(3)ア
32		県民へのPRにもっと力を入れるべきである。	(3)ア
33		年間計画1年目の予算・工事計画についての進捗度は？	(3)ア
34		試算の表だけでなく、県民個人がいくら超過負担をしているか、個別に知らせるべきではないか。	(3)イ
35		取組は永久的に続くことであり、税の恒久化をはかって、①適地に応じた樹種への転換・保全、②流域材の地産地消の拡大などを続けてほしい。	(3)ウ
36		100年の長いプロジェクトなので、息長く行ってください。	(3)ウ
37	県外対策	他県との連携を今以上に。	(5)
38		山梨県との連携した取組も必要では。	(5)
39		【相模川上流域の整備について】 現在の5か年計画は県内のみ整備対象だが、次期計画で山梨県に手を入れる考えは？また、不法投棄対策を対象事業に加えることを考えていくべきではないか？	
40	その他	水質の問題点はあるのか。	
41		丹沢大山の保全と相模川・酒匂川の保全は、密接にからんでいると思う。税の使い方として、総合調査団の提言を生かすことに積極的に使って欲しい。	
42		当研究室では、1993年から毎月1回、相模川水系32ヵ所（山中湖～寒川）の水質調査を行っています。水質関係で何かお話（ご相談）があれば協力できると思います。	
43		川崎市民の関心は、横浜と違って多摩川に向かいがちですみません。	
44		所属しているNPOでも相模川の清掃等に取り組んでおります。今後も活動を頑張りたいです。	
45		麻布大の滝澤さんの発表を心強く聞きました。若い世代の人達が環境保全・再生にどんどん参加してもらえることを期待します。ましてや中高年世代はその先駆けになりましょう。	
46		息の長い仕事になりそうです。途中で息切れしないように、何が目に見えて体で感じられる森と水の幸せスポットのようなところがほしいです。ヒーリングスポット。	
47		資金を持っている人が入り込める枠組みになるようなことを進めることになりそうだなと感じました。	
48		山ヒルが里山に多量発生し、山に里の人が入れなくなっています。県の対策はありますか。	
49		体験学習をしている様ですが、体験を小中学校で発表して教育の成果に。	
50		他県にわたっての川での連絡会議は年何回ぐらいですか。	
51		ダム湖の富栄養化対策は今回話題に出なかったが、これには更に力を入れていきたい。	
52		【ままとじゃないと言い切れる理由】 大学生活には自由に使える時間はありますが、その反面に時間に限りがあるということがあります。4年終わって卒業してからも活動を続けていくために、今やっていることを教えていただきたいです。また、続いていくと思いますか？大学内における環境に対する関心がどれくらいあるのかも教えていただきたいです。	
53	私たち一人ひとりがまず第一にしなければならない事は何でしょうか？例えばゴミを捨てないなど。		

※上記の他にフォーラムの運営等に対し、県民会議への意見として1件の意見が寄せられました



第3回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県央・湘南地域フォーラム） 意見一覧

番号	項目	内容	本文への掲載
1	森林整備等関連項目	森林整備は必要です。整備人材が高齢のため（76歳）たいへんだ。私達共有林組合も年数回整備に出かけます。	(1)ア
2		県の林業は5か年計画終了時にどうなるのか。建材他の利用他	
3		私有林の事にあまりふれていないが、なぜか？私有林の荒廃と県有林とのからみについてもっと力を入れてほしい。	
4		町の中に残っている土地が竹と雑木林になっていて、昨年も学生の投げたタバコで火災がおきました。市外在住の地主で管理もされません。こういった人々への責任のあり方もキチンと決めて欲しいものです。 里山が市民の財産であるとしたら、地元の企業や団体にも、もっと呼びかけてボランティア参加や寄附等の協力を投げてもいいのでは。	
5		私達の共有林は、ほとんど「くぬぎ」（一部ヒノキ、杉）です。日当たりを良くするため、くぬぎ林間伐したところ、一部の組合員からおしかりを受け役員は大変でした。難しいものですね。（道路整備したいのですが、予算なし）	
6	情報提供・啓発関連項目	年度ごとの計画、進捗状況そして、その結果の検証等を明らかにして、県民に語りかけてください。	(3)ア
7		施策については、抽象的すぎて、まだよくわからない。水源環境税を徴収するだけの説得力に欠けるきらいがある。具体的な取組について、今後も関心をもっていきたいと思う。事業そのものは、すこぶる大事なことだと思う。その限りでは、納得できる成果をあげてほしい。	(3)ア
8		保全・再生施策の効果を定量的に評価し、キチンと公表するようにしてもらいたい。	(3)ア
9		この施策の拡がりに合わせて、（仮称）水源環境保全・再生情報センターの創設を検討したらどうか。これは、相模湖畔ではなく、都市部地域で考えることが受益・負担の明確化の観点からも必要と思います。	(3)ア
10		19年度にスタートしたが、1年間の事業評価は如何？	(3)ア
11		20年度の詳細案を教えてください	(3)ア
12		5か年計画終了後の針葉樹、広葉樹、混合林等の県内全般はどのようになるのか。	(3)ア
13		税金の支払われた実績を示して欲しかった。	(3)イ
14		動市 支民 援活	市民活動が一層拡大するためのシステムや情報交換の場が不可欠と思います。行政が行うか、NPO等か。
15	対県 策外	山梨県側の施策が早く詰められればと願っています。	(5)
16		税10年、施策20年と限定し行うべき。ずるずるやってはダメ。	
17		19年度及び20年度の施策の状況について政令市でもフォーラム開催。PRとこれからの協働を呼びかけて欲しい。	
18		5か年計画の終了時に、現在の問題点が解決できるのか。	
19		【子供たちにも里山整備への参加をさせたい】 小学生の頃、学校林の下草刈りをしてキレイになる山を肌でかんじるのは楽しかった事を思い出します。 何が危険かキチンと教えて学校行事として下草刈りなど行うのも必要ではないでしょうか。	
20		【秦野市里山山林調査について】 里山の荒廃の現状を広く知ってもらうには、グラフや文章より写真が最も効果的と考えます。森林づくり課が里山林調査員を使って調査したCD-R5枚にも及ぶ記録を公開しないのはもったいないと思います。公開しないのでしょうか？	

第3回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県央・湘南地域フォーラム） 意見一覧

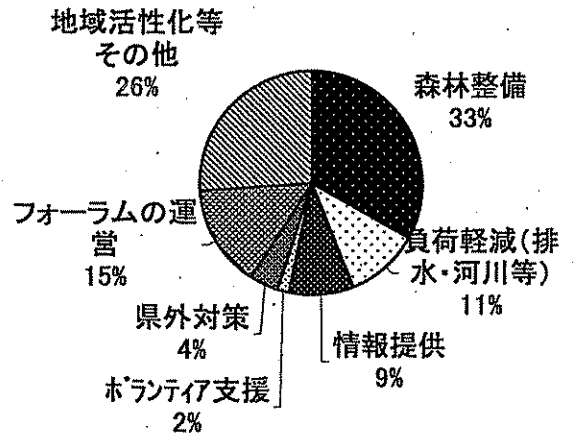
21	その他	【はだの森林づくりマスタープランについて】 このプランの冊子を読みました。すばらしい内容ですが、認知度が低いようです。現在もこのプランは生きているのでしょうか？中止しているのなら何故でしょうか？	
22		【ブナ林の復活への取組みについて】 ブナ林の立ち枯れは今始まった話ではないので、調査費に資金をつぎ込むのではなく対策費に使うべきではないか。今すぐにでもできる事があるのであれば、早急に対策を実行して欲しい。具体策があれば、例をあげて教えて欲しい。	
23		思いがけなく秦野市全体の取組や市の様子を知ることが出来た。（里山まつりに参加できた） 地に足のついた活動がなされているのは嬉しいと思う。更に広がりが大きくなるようPRを望みます。	
24		昨春、金目川ネットワーク、東海大合同で椎野様から里山の方でいろいろお話を伺い、深い感動を……。 （渋沢小の小朋友们達は、本当に良い体験をしていますね）	
25		【環境問題】 持続可能な社会を築くには、もっているものすべてを資源として活用する道を考えねばならないのではないか。 北海道などで、生ゴミ・糞尿・間雑材チップでメタンガスを発生させる話があったが、トウモロコシなどの人間の食物ではなく廃棄し燃やしてしまうようなものを使って何かできないか考えるべきではないか。 各家庭の天ぷら油の廃油を集めてエコエネルギーを作るようなことはすぐできると思う。平塚ではすでにやっているようだ。秦野もいろいろチャレンジしてみてもどうか。	
26		ヤマビル、ハチに刺されないようにするには、どんな事に注意すれば良いですか。	

※上記の他にフォーラムの運営等に対し、県民会議への意見として12件の意見が寄せられました

意見・質問内容の地域別分類

意見・質問内容	県西	県北	県央・湘南	計
1 森林整備	26	25	5	56
2 負荷軽減(排水・河川等)	5	5	8	18
3 情報提供	10	6	0	16
4 ボランティア支援	2	0	1	3
5 県外対策	3	3	1	7
7 フォーラムの運営	12	1	12	25
8 地域活性化等 その他	19	14	11	44
計	77	54	38	169

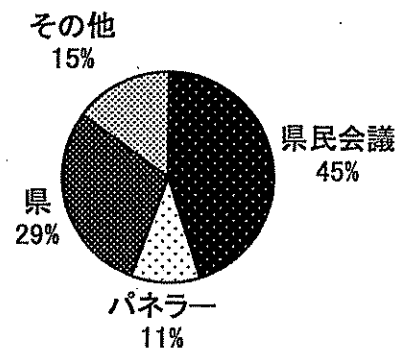
意見・質問内容の分類



意見・質問先の地域別分類

意見・質問先	県西	県北	県央・湘南	計
1 県民会議	52	31	18	101
2 パネラー	7	10	7	24
3 県	16	21	29	66
4 その他	11	14	9	34
計	86	76	63	191

意見・質問先の分類



\*意見・質問先が同一質問等で複数ある場合があるため、意見数と合わない。



# 第1回

(県西地域フォーラム)

# 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

日時：平成19年10月23日(火) 18:30~20:30  
 場所：山北町立中央公民館 多目的ホール  
 (足柄上郡山北町山北1301-4)

## ～ プログラム ～



水源環境保全・再生  
 イメージキャラクター  
 しずくちゃん

- 18:00 ● 開 場
- 18:30 ● 開 会
  - 主催者あいさつ  
 水源環境保全・再生かながわ県民会議副座長 新堀 豊彦
  - 地元代表あいさつ  
 山北町長 瀬戸 孝夫 (水源環境保全・再生かながわ県民会議委員)
- 18:40 ● 水源環境保全・再生施策に関する事業説明  
 神奈川県企画部水源環境保全担当課長 星崎 雅司
- 18:55 ● パネルディスカッション  
 各パネリストから活動事例報告等をしていただき、それらを踏まえて、この施策に期待するものや今後どうあるべきかについて議論します。
  - コーディネーター  
 横浜国立大学経済学部教授 金澤 史男 氏
  - パネリスト  
 小田原山盛の会会長 大森 良一 氏  
 (有)川又林業代表取締役 川又 正人 氏  
 三竹里山の竹林を考える会会長 杉山 精一 氏  
 山北町副町長 清水 正己 氏
- 20:00 ● 質疑応答・意見交換
- 20:30 ● 閉 会

主催 水源環境保全・再生かながわ県民会議

コーディネーター

横浜国立大学経済学部教授 金澤 史勇 さん



神奈川県地方税制等研究会専門部会の部会長として、「生活環境税制のあり方に関する報告書」のとりまとめに尽力。1985年静岡大学人文学部助教授、1990年横浜国立大学助教授、1995年同教授を経て、2002年同経済学部長、2005年同大学院国際社会科学部研究科長を歴任。また、2007年5月からは本フォーラムの主催である水源環境保全・再生かながわ県民会議の座長も務めている。

出演者を紹介します。



パネリスト

小田原山盛の会会長 大森 良一 さん



昭和22年、秋田県生まれ。父が太平洋戦争の際、広島に原爆が投下されたことにより原爆症となったため、16歳から農業に従事。22歳ごろから植林の手伝いがきっかけで山に入る。

20年前、出稼ぎで小田原市に来た際、市の森林組合にお世話になる。

その後、山好きの有志と「小田原山盛の会」を作り、現在に至る。

パネリスト

(有)川又林業代表取締役 川又 正人 さん



林業を経営する一方、県知事が認定する「指導林家」として地域の林業者や林業後継者等の育成に尽力。国や県の森林インストラクターとして、

ボランティア参加者の指導や、自ら丹沢湖畔に体験フィールドを開設し、子ども達に自然環境教育を実践。神奈川地球環境賞を受賞。丹沢大山総合調査委員歴任。実際に現場に立つ林家家として丹沢の再生と水源の森林を守るためには何をすべきかを語る。

パネリスト

三竹里山の竹林を考える会会長 杉山 精一 さん



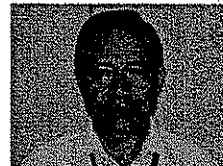
神奈川県認定の「指導林家」である。「あしがら森の仲間」「箱根竹炭研究会」を主宰。農林業家として地域活性化のため努力するとともに、3年前より

「あしがら竹林再生事業」に積極的に取り組み、都市ボランティアの協力を得て、竹林の整備をするるとともに、竹材の活用により経済的な視点に立った地域活性化の道を進んでいる。

さらに「里山の再生」にも意欲を持って活動を開始。この活動が地域だけでなく、足柄上地区及び県内の山村の活性化への波及を目指す。

パネリスト

山北町副町長 清水 正己 さん



山北町在住。県経済農業協同組合連合会勤務の後、平成11年に山北町役場に転職。14年に助役、19年4月から職名変更により副町長となる。

子どものころから零細地主としての林業経験があり、この経験を生かすため、15年程前から県、国の森林インストラクターとして森林ボランティアの指導を行っている。

地域林業の課題、都市の人との連携、水源環境保全・再生事業に対する取組などの話を中心に語る。

【問い合わせ先】

事務局（神奈川県企画部土地水資源対策課）

住所 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 045(210)3106 F A X 045(210)8820 Eメール mizusi@pref.kanagawa.jp

◇ 関係ホームページ

かながわの水源環境の保全・再生をめざして

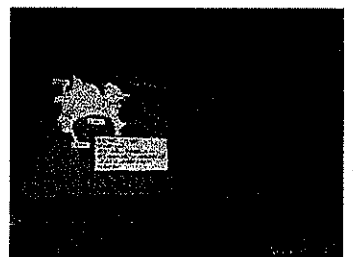
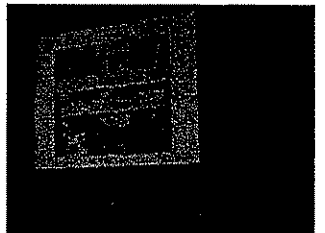
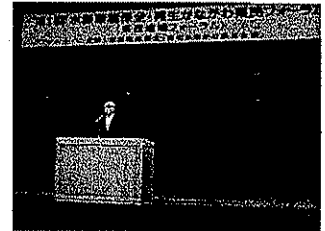
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/mizusigen/suigenkankyo/index.htm>

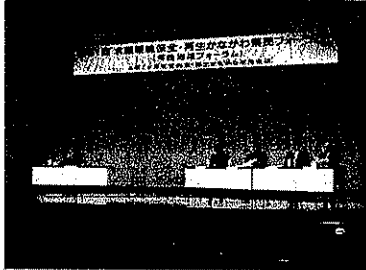


水源環境保全・再生かながわ県民会議 活動結果報告

平成19年10月23日に開催した「第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム）」の内容は次のとおりでした。

名 称	第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県西地域フォーラム）		
構成員	片山幸男、瀬戸孝夫、高橋二三代		
開催日時	平成19年10月23日（火） 18:30～20:30		
開催場所	山北町立中央公民館多目的ホール		
出席者	金澤史男（※1）、新堀豊彦（※2）、長谷川朝恵、牧島信一、真覚邦彦、増田清美、柳川三郎、吉村妙子 ※1 コーディネーター ※2 主催者あいさつ		
参加者	250名		
報告者	片山幸男		
内 容	<p>1. 主催者あいさつ 新堀副座長 ○このフォーラムは今回を出発として、全地域で開催していく。 ○県民会議は「行動する県民会議」ということで、県民の手作りでやっていく。</p> <p>2. 地元代表あいさつ 瀬戸委員 ○今年度から水源環境保全再生交付金事業がスタートし、本町としても地域水源林や合併処理浄化槽の整備などに取り組んでいる。 ○水源地域を守るための取組みや苦勞、悩みなどを十分に御理解いただきたい。</p> <p>3. 水源環境保全・再生施策に関する事業説明 星崎水源環境保全担当課長 ○今年度は県全体では約35億円の財源を活用して12の事業を推進していく。なお、この県西地域では、水源の森林づくり事業や地域水源林整備の支援、河川・水路の自然浄化対策、地下水保全対策、ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進の事業を推進していく。</p> <p>4. パネルディスカッション コーディネーター 金澤座長 パネリスト 小田原山盛の会会長 大森 良一 氏               "          榎川又林業代表取締役 川又 正人 氏               "          三竹里山の竹林を考える会会長 杉山 精一 氏               "          山北町副町長 清水 正己 氏</p> <p>(1) 活動事例報告 各パネリストから自己紹介を含めた活動事例報告があった。</p>		



<p>内 容 (続き)</p>	<p>(2) パネルディスカッション (大森氏) 山の仕事というのは年季がいる仕事である。また、今はどんどん便利な世の中になり、我々がやっていることと別の方向に進んでいくことが問題である。 (川又氏) この水源環境保全・再生施策が始まって丹沢に資金が投入されたが、人手が足りない。山は木材生産だけでなく、様々な生物も住んでおり、このような空間を大事にしていかなければならない。それにはやはり小規模林家を大事にしなければならない。 (杉山氏) 水源環境保全・再生の取組は森林に関わる者にとって何十年に一度のチャンスである。 (清水氏) 山北町の人口はどんどん流出してしまっているため、地域のまとまりがなくなってしまうっており、都会の人との交流がなかなかできない状況にある。ただ、結束力が強い地区もあるので、そういう所を大事にしていきたい。</p>  <p>以降、会場からの質問・意見等も踏まえ、討論を行った。(意見等については別紙。)</p>
---------------------	---

第1回県民フォーラム準備委員の感想

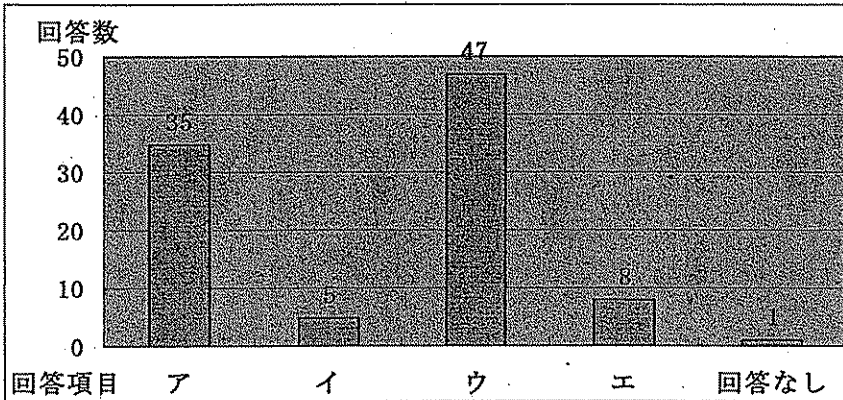
<p>片山幸男</p>	<p>林業においても、従事者の高齢化とそれに伴う後継者不足など、多くの不安材料を抱えている。私たちの生活の根元は、水源環境の保全にあると言っても過言ではない。この事業の成功は、県民全体の安心、安全な生活圏の確保にもつながるものと思う。</p>
<p>瀬戸孝夫</p>	<p>日頃森林に関わっている方からの活動事例発表やパネルディスカッションを通じて、第一線で活動している立場での問題点やご苦労を知ることが出来た。しかし、こうした個別の活動は確かに大事であるが、水源地の環境全体を改善していくためには、数十年後を睨んだ大きな施策が背後にあって、その施策との関係のもとで活動が展開される必要があると思う。 それにしても、林業に携わっている人が県内でわずか 330 名程度しかいないとの話は大変ショックである。これは仮に予算があっても山の整備は進まないことになり、人を育成することが先決であることを痛感した。</p>
<p>高橋二三代</p>	<p>① 開催の場所柄、これだけの方々の参加を頂けたのも、水源税の取り組みに対して大きな関心、注目ありと重ねて実感した。 ② 案内チラシについて・・・行政色を減らした、素人っぽさがあってもいいのかなど感じた。県民会議主催の一端で。 ③ 質問事項は用紙に書いて～のやり方は、講演を聴きながら書くという事で時間に追われ、内容も文も雑で、できたら、生の声で討論をしたかったとの要望を数人から頂いた。</p>

第1回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム  
(県西地域フォーラム) アンケート集計結果

今後の取組の参考とするため、フォーラムに参加いただいた方々にアンケート調査を実施したところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。(詳細は別紙)

- 回収したアンケート…90
- 今後、水源環境保全・再生に関する情報提供を希望する人数…36名

Q1 本日のシンポジウムのことをどのように知りましたか。  
ア 公共機関での配布物      イ 県のホームページ  
エ その他



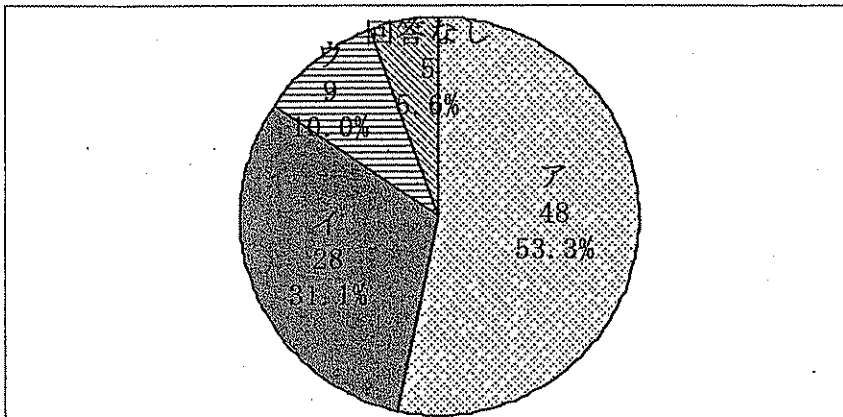
ウ 所属する団体を通じて

その他

- ・ タウンニュース
- ・ 相豆新聞
- ・ 友人、知人

…etc

Q2-1 今回のフォーラムはいかがでしたか。  
ア 良かった      イ 普通      ウ 改善が必要



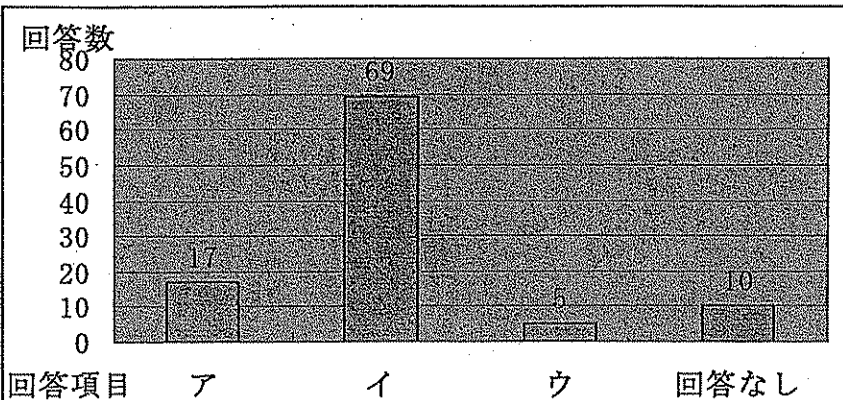
ア 参加者が多い。パネラーの説明が良かった。

イ プレゼンがわかりやすかった一方で、ディスカッションの時間がもう少しほしい。

ウ タイムスケジュールに無理がある。

…etc

Q2-2 今回のフォーラムで興味深かったものがありましたか。(複数回答可)  
ア 施策に関する事業説明      イ パネルディスカッション      ウ 特にない



ア 今おかれている状態が改めて理解できる。

イ 第一線で活躍の方がパネラーで、このことが良かった。

…etc



# 第2回

(県北地域フォーラム)

# 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

～ 「水源環境を保全・再生するための個人県民税超過課税」を支払っているのを知っていますか? ～

日時：平成20年1月17日(木) 18:00～20:30

場所：サン・エールさがみはら ホール(相模原市西橋本5-4-20)

## ～ プログラム ～



水源環境保全・再生  
イメージキャラクター  
しずくちゃん

- 17:30 ● 開場
- 18:00 ● 開会  
● 主催者あいさつ  
水源環境保全・再生かながわ県民会議座長 金澤 史男  
● 地元市長あいさつ  
相模原市長 加山 俊夫  
※代理：相模原市副市長 宮崎 泰男
- 18:10 ● 水源環境保全・再生の取組とは  
神奈川県企画部水源環境保全担当課長 星崎 雅司
- 18:15 ● 水源地の現状は  
神奈川県環境農政部森林課副技幹 日高 壮一  
(有)サトウ草木代表取締役 佐藤 好延  
● 水源地での活動事例報告  
桂川・相模川流域協議会代表幹事 倉橋 満知子  
● 水源地の将来を考える  
麻布大学環境保健学部環境政策学科 滝澤 康至
- 19:20 ● フロア討論  
コーディネーター：旧津久井町長 天野 望
- 19:50 ● 休憩(10分)
- 20:00 ● ミニコンサート  
シンガーソングライター(二胡奏者) 芳 晴
- 20:30 ● 閉会

主催 水源環境保全・再生かながわ県民会議

出演者を紹  
介します。



しずくちゃん



荒廃が進む人工林



適切に管理された人工林

**コーディネーター：旧津久井町長 天野 望**

昭和59年12月から平成18年3月まで6期22年にわたり津久井町長を務め、水源地におけるまちづくりの発展に尽力した。

その他、神奈川県町村会会長や神奈川県地方税制等研究会水源地域（湖沼地域）対策研究会座長等を歴任し、県内町村自治の向上と確立に貢献した。相模原市津久井町鳥屋在住。

2007年4月から水源環境保全・再生かながわ県民会議委員も務めている。

**㈲サトウ草木代表取締役 佐藤 好延**

生まれ育った津久井地域の荒廃林を整備したい、若い労働力を育成したいとの思いから、49歳で27年間勤務した相模原市消防署を退職し、1996年に㈲サトウ草木を創業。

現在20・30代を含む11人の社員で、年間70～80ヘクタールの森林整備に従事。

素材生産（木材の活用）の必要性を常に意識しながらも、材価の低迷や設備投資が高額、搬出コスト高等で年間100立方メートルの生産にとどまっている。

**桂川・相模川流域協議会代表幹事 倉橋満知子**

鳩川・縄文の谷戸の会代表。

1990年に自宅前を流れる鳩川の護岸改修に疑問を持ち、自然護岸へと提案する市民活動を始める。1995年その活動を通じて、桂川・相模川流域協議会の設立に関わる。又、地域では、鳩川沿いに残された谷戸田を保全する活動も同時に行う。三年前より冬水たんぼ不耕起栽培に取り組み、農業の在り方を研究している。相模原市在住。

2007年4月から水源環境保全・再生かながわ県民会議委員も務めている。

**麻布大学環境保健学部環境政策学科 滝澤 康至**

所属：麻布大学環境保健学部環境政策学科3年次。活動内容：環境ISO学生委員会、環境サークルGreenNova、大学地域交流フェスティバル“淵野辺ボンパイエ！”実行委員長。

学内の環境活動から森づくりを始めるきっかけをつくり、相模湖で緑のダム北相模の指導をいただきながら、2006年に他大学生と学生森づくり団体ForstNovaを立ち上げる。森林を専門としていない学生でも参加できる組織にして、大学の枠を超えた団体にするのが目標。



**シンガーソングライター（二胡奏者） 芳 晴**

本名：遠藤芳晴。二胡奏者・シンガーソングライター・ナレーター。エモーショナルで叙情的な歌唱・演奏・作曲を得意とするが、ロックンロールで弾けるのも大好きである。モンゴル民話「スーホの白い馬」の二胡弾き語りは、全国各地で好評を得ている。2005年夏にはドイツでも公演し、大好評を博した。2001年、映画「ギフトと生きる郷」（能勢広/矢島仁作品）では音楽とナレーションを担当、同作品が文化庁優秀映画賞と文部科学大臣賞を受賞。2003年4月からBS日テレの子供番組「音楽王国」主演、「王様」に扮して番組の司会、歌、演奏などを担当する。

**【問い合わせ先】**

**事務局（神奈川県企画部土地水資源対策課）**

住所 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 045(210)3106 FAX 045(210)8820

◇ 関係ホームページ

かながわの水源地環境の保全・再生をめざして


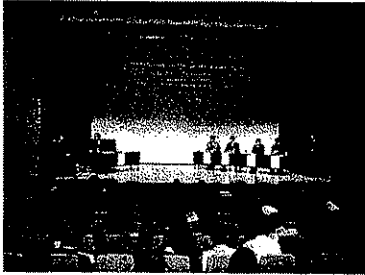

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/mizusigen/suigenkankyo/index.htm>

## 水源環境保全・再生かながわ県民会議 活動結果報告

平成20年1月17日に開催した「第2回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）」の内容は次のとおりでした。

名 称	第2回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県北地域フォーラム）	
	構成員	坂本勝津雄、石村黄仁、倉橋満知子
開催日時	平成20年1月17日（木） 18:00～21:00	
開催場所	サン・エールさがみはら ホール	
出席者	金澤史男（※1）、天野望（※2）、天内康夫、片山幸男、瀬戸孝夫、高橋弘二、高橋二三代、牧島信一、真覚邦彦、増田清美 ※1 主催者あいさつ ※2 コーディネーター	
参加者	182名	
報告者	坂本勝津雄	
内 容	<p><b>1. 主催者あいさつ 金澤座長</b>          ○このフォーラムには3つのことを期待している。1つ目は県民の皆さんの水源への関心を広めていくこと、2つ目は今年度から始まった事業をチェックしてもらうこと、3つ目はこういう討論に参加してもらい積極的に意見を言ってもらうことである。          ○県民会議は単に会議室で会議をするだけでなく、現場に出向いて事業をチェックする、地域に出向いて意見を聞くという「行動する県民会議」を目指している。</p> <p><b>2. 地元市長あいさつ（代理） 宮崎相模原副市長</b>          ○本市は津久井4町との合併により湖と広大な森林を擁することとなった。この豊かな水と緑は県民の水源地として重要な役割を担うとともに、新相模原市の新しい魅力となっていくと考えている。          ○4月からの水源環境保全事業の推進にあたり、県から交付金を受けつつ連携を密にして推進しているところである。</p> <p><b>3. 水源環境保全・再生の取組とは 星崎水源環境保全担当課長</b>          ○今年度は県全体では約35億円の財源を活用して12の事業を推進していく。この県北地域においても、水源の森林づくり事業や地域水源林整備の支援、河川・水路の自然浄化対策、ダム集水域における公共下水道及び合併処理浄化槽の整備促進の事業を市町村と協力して推進していく。</p> <p><b>4. 事例報告、フロア討論</b>          コーディネーター 旧津久井町長 天 野 望          パネリスト 神奈川県環境農政部森林課副技幹 日 高 壮 一          " 有限会社サトウ草木代表取締役 佐 藤 好 延          " 桂川・相模川流域協議会代表幹事 倉 橋 満知子          " 麻布大学環境保健学部環境政策学科 滝 澤 康 至</p> <p>各パネリストからの自己紹介を含めた事例報告に引き続き、フロア討論を行った。</p>	



<p>内 容 (続き)</p>	<p>(佐藤氏) 森林整備事業が増えて、仕事も非常に多くなっているが、労働力が不足している。山で働くと危険が伴う。安定した生活ができる処遇に持っていければと思うが、一企業ではなかなか難しい。</p> <p>(倉橋氏) 桂川・相模川流域協議会では山梨県を含む上流から相模湾に注ぐ河口まで流域全体について市民をはじめ事業者、行政とも協力しながら活動している。</p> <p>(滝澤氏) 現在、NPO法人緑のダム北相模が行っているフィールドを中心にボランティア活動に参加している。山に興味のない人にはぜひ山に入ってもらっていただき、山の現状を知っていただきたい。</p> <p>その他、会場からの質問・意見等も踏まえ、討論を行った。(意見等については別紙。)</p> <p>5. ミニコンサート フロア討論後、ミニコンサートを開催した。</p>	  
---------------------	---	--

第2回県民フォーラム準備委員の感想

<p>坂本勝津雄</p>	<p>合併の流れを受けて相模原市が変化しているこの時期に水源地の情報を共有化するフォーラムは意味深く、また水源税導入の情報も発信出来た企画であった。第二部として胡弓のミニコンサートを実施するなど地域の特性を発揮できた形となった。参加者の主体的な関わり方を引き出していくためにも市民活動への支援についての情報提供も大切な課題であるが、時期的に間に合わなかった事は残念であった。次回の県北地区のフォーラムとしては水源環境の情報交換、集約、交流という三つの要素を大切に、引き続き地域性を活かしたイベント性のある企画を望みたい。地域の特産品販売や観光アピール、水源スポット紹介なども組み込み、幅広く情報提供を実施していけたらと考えます。</p>
<p>石村黄仁</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の政策説明は、適切に進められた。</li> <li>・コーディネーターに人材を得て、進行はスムーズに進められた。</li> <li>・新たな試みとして学生の主張を取り入れた事は、新鮮な印象となって参加者に共感を与えた。</li> <li>・2問の質疑があったが、回答は納得・理解の出来ぬものであった。</li> <li>・ミニコンサートの取り入れは、演奏者や選曲がこのフォーラムに適したものであり、参加者に好感を与えた。</li> </ul>
<p>倉橋満知子</p>	<p>ミニコンサート自身は良かったが、夜の短い時間に盛り込むには無理があったように思う。(午後の時間だと良い。)</p> <p>一般参加者の意見を聞く時間が短いのと、質問形式だと参加者相互の考えが見えないので、一方通行で発展性がない。今後の見せ方を課題としたい。</p>



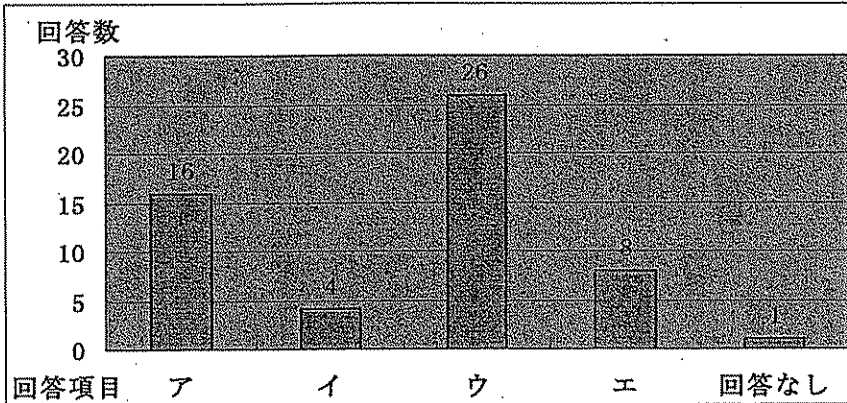
第2回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム  
(県北地域フォーラム) アンケート集計結果

今後の取組の参考とするため、フォーラムに参加いただいた方々にアンケート調査を実施したところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。(詳細は別紙)

- 回収したアンケート…50
- 今後、水源環境保全・再生に関する情報提供を希望する人数…27名

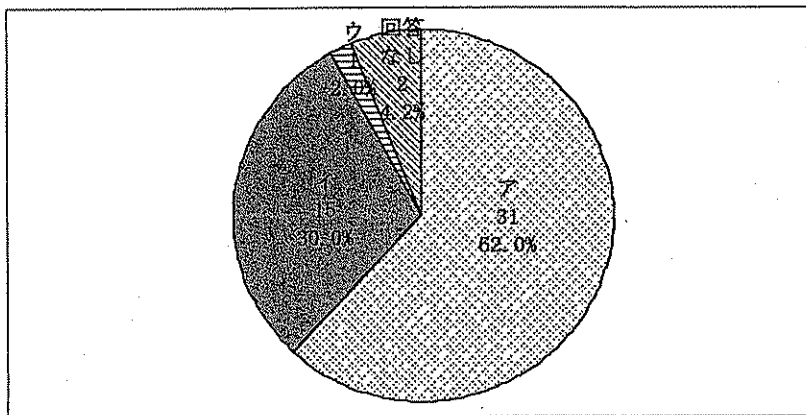
Q1 本日のシンポジウムのことをどのように知りましたか。  
ア 公共機関での配布物    イ 県のホームページ  
エ その他

ウ 所属する団体を通じて



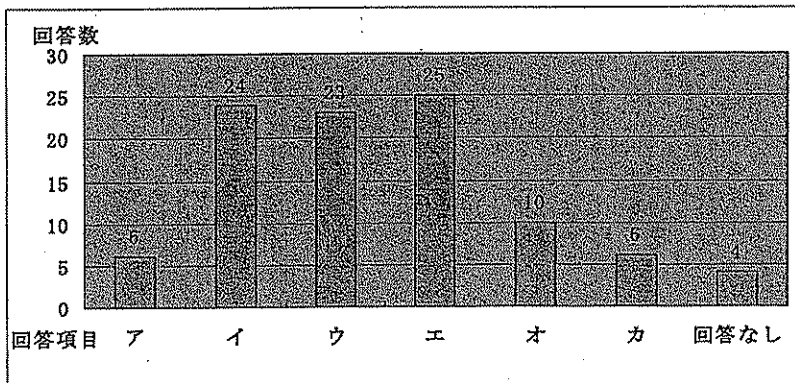
エ  
・ 神奈川新聞  
・ 県からのメール  
…etc

Q2-1 今回のフォーラムはいかがでしたか。  
ア 良かった    イ 普通    ウ 改善が必要



ア 県民会議委員が司会・進行を主体的に進めた点  
イ ディスカッションの時間が少々タイトでした。  
ウ 発表が多く散発的。もっと絞ったテーマにしてほしい。  
…etc

Q2-2 今回のフォーラムで興味深まったものがありましたか。(複数回答可)  
ア 施策に関する事業説明    イ 水源地の現状報告    ウ 水源地での活動事例報告  
エ 水源地の将来を考える    オ フロア討論    カ ミニコンサート



イ サトウ草木様のお話には大いに共感を覚えました。  
エ 後世に残せる地球環境にもつながる。自分の意識改革にもなった。  
オ 大学生の滝澤さんのしっかりした意見に好感を持った。  
…etc



# 第3回 (県央・湘南地域フォーラム)

## 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

～ 森の再生を県民の手で ～

日時：平成20年3月23日(日) 13:00～15:00

場所：秦野市表丹沢野外活動センター活動室(秦野市菩提2046-5)

### ～ プログラム ～



水源環境保全・再生  
イメージキャラクター  
しずくちゃん

12:30 ● 開場

13:00 ● 開会

● 主催者あいさつ

水源環境保全・再生かながわ県民会議座長 金澤 史男

● 地元市長あいさつ

秦野市長 古谷 義幸

13:10 ● 水源環境保全・再生施策に関する説明

神奈川県企画部水源環境保全担当課長 星崎 雅司

13:25 ● 市民事業等支援制度について

日本大学経済学部准教授 沼尾 波子

〔水源環境保全・再生かながわ県民会議委員〕  
〔同市民事業等審査専門委員会委員長〕

13:40 ● パネルディスカッション

水源環境保全・再生施策や市民事業等支援制度についての説明及び各パネリストからの活動事例報告等を踏まえて、この施策の今後の展開やボランティア活動等への参加について議論します。

○ コーディネーター

沼尾 波子

○ パネリスト

大津 徹 (秦野市環境産業部森林づくり課長)

椎野 恭治 (まほろば里山林を育む会代表)

柳川 三郎 (金目川水系流域ネットワーク)

真覚 邦彦 (水源環境保全・再生かながわ県民会議委員)

15:00 ● 閉会

主催 水源環境保全・再生かながわ県民会議

★コーディネーター★

日本大学経済学部准教授 沼尾 波子

1997年（財）東京市政調査会研究員、2000年日本大学経済学部専任講師、2002年同大助教授、2007年より現職。専門は地方財政論。神奈川県地方税制等研究会委員ならびに生活環境税制専門部会の幹事として、水源環境税の検討に参画した。

現在、水源環境保全・再生かながわ県民会議委員ならびに市民事業等審査専門委員会委員長。水源環境税の用途をめぐる「参加型税制」の可能性を模索中。

★パネリスト★

金目川水系流域ネットワーク 柳川 三郎

金目川水系流域ネットワーク役員（4年）を務めているほか、平塚市ひらつか環境ファンクラブ代表（3年）、平塚市自治会連絡協議会役員（4年）、平塚市金目地区自治会連絡協議会会長（4年）も務めており、環境活動、自治会活動等に尽力している。

また、平成19年度から水源環境保全・再生かながわ県民会議委員も務めている。



荒廃が進む人工林



適切に管理された人工林

【問い合わせ先】

事務局（神奈川県企画部土地水資源対策課）  
住所 〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
電話 045(210)3106 FAX 045(210)8820

◇ 関係ホームページ

かながわの水源環境の保全・再生をめざして  
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/mizusigen/suigenkankyo/index.htm>

出演者を  
紹介します。



しずくちゃん

★パネリスト★

まほろば里山林を育む会代表 椎野 恭治

まほろば里山林を育む会の代表を務めるとともに、はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会副会長を務め、里地里山保全再生モデル事業などの活動を行っている。また、全国森林インストラクターとして森林ボランティアの指導も行っている。

藤本会（三味線）の会員でもあり、芸名は網恭（あみやす）。

★パネリスト★

水源環境保全・再生かながわ県民会議委員 眞覚 邦彦

県が進めている「かながわ水源の森林づくり」に平成16年まで7年間、民間のパートナー企業の一員として参加協力してきた。会社を退職後も、温暖化による環境破壊が頻発している昨今、郷土の自然環境保護の現状及び将来への備えを知りたいと思っていた折に「水源環境保全・再生かながわ県民会議」への参加募集の告知を見て応募した。新たな税が、必要な施策に有効に使われるよう見守り、行動している。

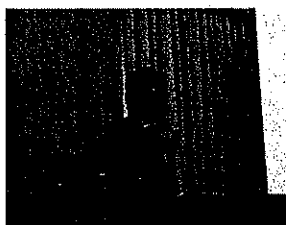



★お知らせ★



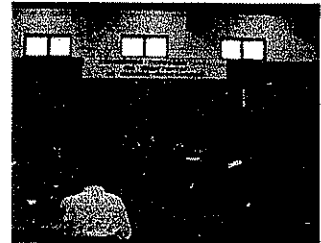
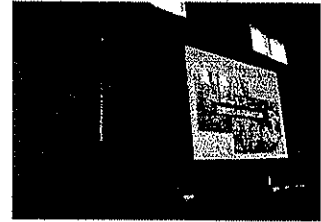
「市民事業等支援制度って?」、「いつから始まるの?」、「どのような事業が対象なの?」etc...詳しくは配付チラシをご覧ください。または左記問い合わせ先まで御連絡ください。

水源環境保全・再生かながわ県民会議 活動結果報告

平成 20 年 3 月 23 日に開催した「第 3 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県央・湘南地域フォーラム）」の内容は次のとおりでした。

名 称	第 3 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（県央・湘南地域フォーラム）	
	構成員	真覚邦彦、吉村妙子、柳川三郎
開催日時	平成 20 年 3 月 23 日（日） 13:00～15:00	
開催場所	秦野市表丹沢野外活動センター 活動室	
出席者	金澤史男（※1）、新堀豊彦、沼尾波子（※2）、天内康夫、片山幸男、高橋二三代、長谷川朝恵、牧島信一、増田清美 ※1 主催者あいさつ ※2 市民事業支援制度説明及びコーディネーター	
参加者	110名	
報告者		
内 容	<p><b>1. 主催者あいさつ 金澤座長</b>          ○このフォーラムには3つ目的がある。1つ目は県民の皆さんに水源環境税のことを知ってもらう機会とすること、2つ目は、直接県民の皆様の見解をうかがう機会とすること、3つ目は様々な活動を始めた県民会議の行動を知っていただく機会とするということである。          ○県民会議は、市民の方々の活動を支援する仕組みを1年間議論した。その成果の一端を今日示したい。</p>  <p><b>2. 地元市長あいさつ（代理） 中村秦野市副市長</b>          ○本市は秦野1世紀の森づくり構想によりボランティアによる里地里山の整備、さらに市の事業として整備を加え50年かけて再生し、さらに50年かけて育て上げることを目指している。          ○4月からの水源環境保全事業の推進にあたり、県から交付金を受けふると里山整備事業、里山ふれあいの森づくり事業等に組みあわせて市民ボランティア団体の方々への支援にもこの財源を活用している。          ○平成22年に開催する全国植樹祭の式典が県立秦野戸川公園に決定し、市民総ぐるみで成功に向けて取り組んでいきたい。</p>  <p><b>3. 水源環境保全・再生の取組とは 星崎水源環境保全担当課長</b>          ○5か年の計画として年間38億円予算来年度は県全体では約42億円の財源を活用して12の事業を推進していく。          秦野市では、市と市民団体が協働して里山の保全に従前から精力的に取り組まれておられ、すばらしい成果を挙げられている。          ○県民会議として「市民事業等への支援制度」について検討していただき、その報告書をもとにこの4月から制度を開始する予定である。</p>  <p><b>4. 市民事業支援制度の説明 沼尾市民事業等審査専門委員会委員長</b>          ○水源環境保全・再生施策の中に県民参加が柱の一つにあり、具体的に市民が実施する事業に対する財政支援の仕組みを県民会議の中の市民事業等審査専門委員会で検討してきた。          ○制度の検討にあたっては、県内外の事例を調べるとともに実際に活動を実践している団体の方から話を伺ってきた。          ○今後、単なる補助金に終わらせず、様々な形で活動をつなげ大きく育てていくためにも多くの方々にこの仕組みを活用していただきたい。</p> 	

内 容 (続き)	<b>5. 事例報告、フロア討論</b>		
	コーディネーター	日本大学経済学部准教授	沼 尾 波 子
	パネリスト	秦野市環境産業部森林づくり課長	大 津 徹
	〃	まほろば里山林を育む会代表	椎 野 恭 治
	〃	金目川水系流域ネットワーク	柳 川 三 郎
〃	水源環境保全・再生かながわ県民会議委員	真 覚 邦 彦	
<p>真覚委員を除く各パネリストからの自己紹介を含めた事例報告に引き続き、フロア討論を行った。</p> <p><b>(大津氏)</b> 秦野市では、山林所有者と行政とボランティアの3者で協定を結んでいるところが特徴。行政がコーディネーターとして間に入ることで安心して活動ができるようだ。</p> <p><b>(椎野氏)</b> 私達の活動を地域の方々に知っていただき、理解していただくことが重要。山で活動をしていると、自然の恵みなど山が私たちに恩返しをしてくれることを実感している。</p> <p><b>(柳川氏)</b> 金目川水系ネットワークでは生産者・消費者なりすべての人が双方向で行き交うような情報誌を発行して、より大勢の人に見ていただいている。東海大学と地元の人たちで自主的に運営している。</p> <p><b>(真覚氏)</b> 県民会議として、水源地や河川などで実際に行われている事業をモニターし、その内容を県民の皆さんに広くお知らせする活動を始める。今後、いろいろな手段、方法を捉えて県民の立場で広く皆さんにご案内していきたい。その他、会場からの質問・意見等も踏まえ、討論を行った。(意見等については別紙。)</p>			



### 第3回県民フォーラム準備委員の感想

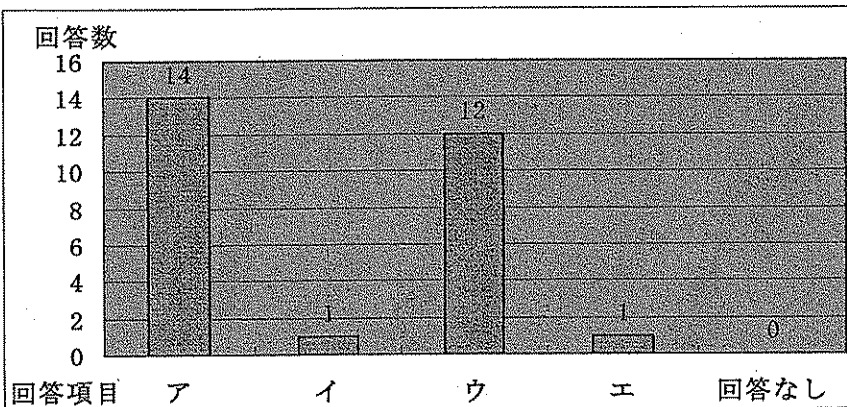
真覚邦彦	フォーラムに参加・傍聴なさった方々と主催者側との間に、この事業計画についての情報・知識の量のギャップが、まだまだ大きいと感じました。県内に理解・協力の輪を広げるには、一般の方々のご質問にひとつずつ、解りやすい回答をしなければならぬと痛感しました。
吉村妙子	水源環境保全・再生に関心を寄せる方々に、新たな支援事業を紹介する、よい機会だったと思います。一方で、水源環境税、市民事業支援制度、活動事例など幅広く伝え、しかも深く議論するには時間が必要だと感じました。広報全体に通じることですが、テーマやターゲットをより明確にすることで、議論も深まるのではないのでしょうか。
柳川三郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のフォーラムは秦野市里山まつりと同時開催として実施しましたが、予定したよりもまつりが中心の県民が多く学んでいかそうとする人をもっと増加させるべきと考えました。</li> <li>・水源環境保全・再生事業及び水源税の用途について、県の説明はよく理解ができました。今後も継続的に県民に知らしてほしい。</li> <li>・市民事業支援制度の説明について、私は適切な説明と判断いたしました。アンケートでは積極的に活用したいとの意見がないのが残念です。</li> <li>・パネラー・フロアーの発表・討議は秦野市の重要な水源である地下水を守るために多くの市民が活動している実態や今後の取り組み目標及び課題を広めることができ、有意義でした。特に地下水を維持するために森がいかに重要であることが伝わりました。</li> </ul>

第3回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム  
 (県央・湘南地域フォーラム) アンケート集計結果

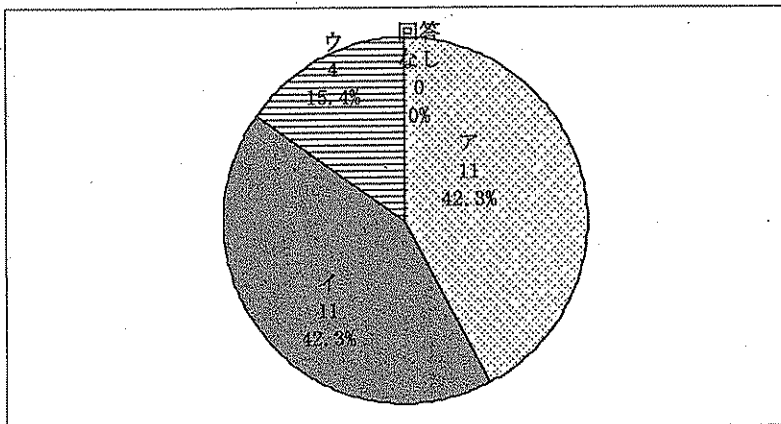
今後の取組の参考とするため、フォーラムに参加いただいた方々にアンケート調査を実施したところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。(詳細は別紙)

- 回収したアンケート…25
- 今後、水源環境保全・再生に関する情報提供を希望する人数…17名

Q1 本日のシンポジウムのことをどのように知りましたか。  
 ア 公共機関での配布物      イ 県のホームページ      ウ 所属する団体を通じて  
 エ その他

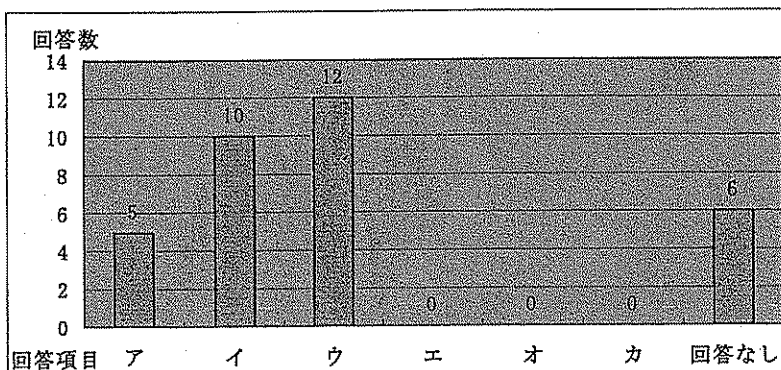


Q2-1 今回のフォーラムはいかがでしたか。  
 ア 良かった      イ 普通      ウ 改善が必要



- ア 知らなかったことを知ることができた
- イ 時間が短かった。
- ウ 音響が悪く、聞き取りにくかった。
- …etc

Q2-2 今回のフォーラムで興味深まったものはありましたか。(複数回答可)  
 ア 施策に関する事業説明      イ 市民事業等支援制度  
 ウ パネルディスカッション



- イ 市民が参加しやすくなると思う。
- ウ 活動事例報告が、良かった。
- …etc

